

## 「得意なこと、苦手なこと」シートの使用方法について



始良市教育委員会

「得意なこと、苦手なこと」シートは、児童生徒に、自分の得意なことや苦手なことを書いてもらい、教師が日頃の授業等に生かすためのアンケートです。児童生徒の多様な学び方を知り、一人一人に合った指導や支援を行う際の資料になります。

「得意なこと、苦手なこと」シートは、小学4年生以上の児童生徒に記入してもらうことを想定して作成しています。使用の際は、A3サイズに拡大してください。

回答してもらった後は、全ての児童生徒を対象に、教師が個別面談を行います。個別面談で大切なことは、児童生徒の思いを傾聴し、寄り添う姿勢で臨むことです。実施の仕方については、別紙「個別面談の方法(例)」を参照してください。「苦手」と回答があった児童生徒には、別冊「支援方法の例」を参考にして、どのような配慮があると安心して学習できるか、児童生徒と話し合っ決めてください。

「得意なこと、苦手なこと」

月 日 年 組 番号 名前 ( )



あなたの得意なこと、苦手なことを教えてください。あてはまるところを一つ選んで○をかくてね!

	とても 上手	少し 上手	ふつう	まあ 得意	とても 得意
1 人の話を聞くこと。					
2 人と話すこと。					
3 文章（教科書や本）を読むこと。					
4 文字や漢字を書くこと。					
5 ノートに黒板を写すこと。					
6 計算をすること。					
7 作文や日記を書くこと。					
8 絵をかくこと。					
9 授業で習ったことを覚えること。					
10 人前で発表すること。					
11 家で宿題をすること。					
12 自分で計画を立てて行動すること。					
13 授業中、じっと静かに座っていること。					
14 いろいろな気にせず集中して取り組むこと。					

	とても 上手	少し 上手	ふつう	まあ 得意	とても 得意
15 約束やルールを守ること。					
16 人に手を出さず、ぐっと我慢すること。					
17 わすれ物をしないこと。					
18 片付けや整理整頓をすること。					
19 友達と活動したり遊んだりすること。					
20 ダンスや水泳、縄跳び等の運動をすること。					
21 手先を使って細かい作業をすること。					
22 楽器（リコーダーなど）で演奏すること。					
23 給食を食べること。					
24 教室内で聞こえる音。					
25 教室内において。					
26 教室内の電気などの光。					
27 自分を人に見られること（人の視線）。					
28 その他 ( )					

ありがとうございます。得意なことが増えるように、困っていることや苦手なことが少しでも減るように、先生たちも一緒に考えます。

## 個別面談の方法（例）

始良市教育委員会

- ※ 面談は、傾聴、共感、受容の姿勢で臨む。
  - ※ 面談を行う前に、児童生徒に、この面談は、成績や入試とは全く関係ないことを伝える。
- ① 「得意なこと、苦手なことシート」や「学校楽しいーと」等を提示しながら面談を行う。
  - ② 評価を高く付けていた項目について、具体的に何が得意なのか、どのようなところが好きなのかなどについて聞く。
  - ③ 評価を低く付けていた項目について、具体的に何が苦手なのか、何に困っているのかなどについて聞く。
  - ④ 本人なりに頑張っているが、どうしてもできないことはないか尋ねる。このとき、「努力が足りないのではないか」等と否定しない。
  - ⑤ 苦手なことや困っていることについて、どのような支援があるといいか尋ねる。また、「支援方法の例」を基にしながら、「こんな方法があるけど、どう？」と具体的な支援方法を提案する。
  - ⑥ 苦手なことや困っていることに対する支援方法を児童生徒と一緒に話し合っ決めて。「まずはその方法で1週間程度取り組んでみて、その結果について、また話を聞かせてほしい」と児童生徒に伝える。
  - ⑦ 解決が難しい場合は、スクールカウンセラーを紹介できることを伝える。

## 「とても苦手」「少し苦手」なことに対して



### ➔ 担任がすぐにはできる支援方法の例

		支援方法の例
1	人の話を聞くこと。	<ul style="list-style-type: none"><li>・文字で書いて伝える。</li><li>・絵やイラスト、動画を用いる。</li><li>・短い文で話す。</li></ul>
2	人と話すこと。	<ul style="list-style-type: none"><li>・一度紙に書いてから話をするようにする。</li></ul>
3	文章(本や教科書の文字)を読むこと。	<ul style="list-style-type: none"><li>・文節ごとにスラッシュを入れる。</li><li>・定規を当て、読む行だけ見えるようにする。</li><li>・指で押さえながら読むように伝える。</li><li>・拡大コピーして読むようにする。</li><li>・振り仮名を付ける。</li><li>・プリントはUDフォントで作成する。</li></ul>
4	文字や漢字を書くこと。	<ul style="list-style-type: none"><li>・書くためのプリントは拡大して使用する。</li><li>・升目の大きいノートを使う。</li></ul>
5	ノートに黒板を写すこと。	<ul style="list-style-type: none"><li>・めあてとまとめだけを書くなど、書く量を調整する。</li><li>・デジタルカメラに撮ってノートに貼る。</li><li>・タブレットに入力する。</li></ul>
6	計算をすること。	<ul style="list-style-type: none"><li>・升目を書いてあるプリントを使用し、位を揃えて筆算ができるようにする。</li><li>・九九表を提示する。</li><li>・計算の手順を提示する。</li></ul>
7	作文や日記を書くこと。	<ul style="list-style-type: none"><li>・5W1Hのヒントを示す。</li><li>・書く内容を写真等で視覚的に示す。</li></ul>

8	絵をかくこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵描き歌のように描き方の手順を示す。</li> <li>・描き方の例を示す。</li> <li>・友達の真似をしてもいいことを伝える。</li> </ul>
9	授業で習ったことを覚えること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要事項を書いて教室内に掲示し、いつでも確認できるようにする。</li> <li>・覚え方（語呂合わせなど）を教える。</li> </ul>
10	人前で発表すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の話型を示す。</li> <li>・発表の順番を2番目以降にして、前の友達の発表を参考にできるようにする。</li> <li>・確実に正解できる内容を発表できるようにする。</li> </ul>
11	家で宿題をすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題の量を調整する。</li> <li>・宿題する順番を伝える。</li> </ul>
12	自分で計画を立てて行動すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールを一緒に立てる。</li> </ul>
13	授業中、じっと静かに座っていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙を配るなど動いてよい係を設定する。</li> <li>・動きのある活動を取り入れる。</li> </ul>
14	いろいろ気にせず集中して取り組むこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板周囲の掲示物を精選する。</li> </ul>
15	約束やルールを守ること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約束やルールを事前に提示する。</li> </ul>
16	人に手を出さず、ぐっと我慢すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深呼吸を教える。</li> <li>・クールダウンできる場所を決める。</li> <li>・先生に援助を求めるように伝える。</li> </ul>
17	忘れ物をしないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ってくる物のチェック表を作る。</li> <li>・自分でメモをとるように伝える。</li> <li>・付箋に書いて渡す。</li> </ul>

18	片付けや整理整頓をすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具を入れるケースを準備する。</li> </ul>
19	友達と活動したり遊んだりすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数で楽しく過ごせる方法を探す。</li> <li>・1人で楽しむことができる活動を探す。</li> </ul>
20	ダンスや水泳、縄跳び等の運動をすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作を区切って教える。</li> <li>・動画で繰り返し見て学べるようにする。</li> </ul>
21	手先を使って細かい作業をすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具を工夫する。(くるんパス*等)</li> </ul>
22	楽器(リコーダーなど)で演奏すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具を工夫する。(ふえピタ*等)</li> <li>・演奏する部分を調整する。</li> </ul>
23	給食を食べること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量を減らす。</li> </ul>
24	教室内で聞こえる音。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イヤーマフ*を使う。</li> <li>・テストを別室で受ける。</li> </ul>
25	教室内において。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席を窓側にする。</li> <li>・我慢ができないときは、教室を出て、外の空気を吸うことができるようにする。</li> </ul>
26	教室内の電気などの光。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席の位置を変える。</li> <li>・サングラス等を使う。</li> </ul>
27	自分を人に見られること(人の視線)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人や少人数で過ごせる場所を話し合っ決めて決める。</li> </ul>

※くるんパス：簡単に円を書くことができるコンパス。

※ふえピタ：リコーダーの穴を押さえやすくするために貼るシール。

※イヤーマフ：耳から入る音の大きさが軽減される防音保護具。